

リーフレット「保護者に知ってほしい 多様な性」活用の手引き

1 本リーフレット作成のねらい

セクシュアル・マイノリティやLGBTについて、社会的関心が高まっており、学校園においても、性的指向・性自認について悩みを抱えていたり、周囲の理解不足から生きづらさを感じていたりする子どもたちの存在が顕在化しています。そのような中で、子どもの人権を守る観点から、保護者が多様な性について理解することが求められています。

本リーフレットには、多様な性に関する基礎知識や子どもたちの思い、大人にできること、困ったときの相談先などを載せています。また、これまでセクシュアル・マイノリティや多様な性に関して学習していなかったり、関心をもっていなかったりした保護者にも、理解しやすく、関心を高められるよう、デザインやレイアウトを工夫しました。多様な性について理解するとともに、すべての子どもたちが安心して生活できる家庭や学校生活について考えを深めてほしいと願っています。

2 活用方法

令和3年度のPTA人権教育研修(学級単位でも学年・全校園単位でもよい)における研修資料としてください。

3 活用例

(1) ワークショップ形式

活動内容	教師の支援	備考
<p>1 本リーフレットの目的を確認する。</p> <p>2 子どもたちの、多様な性に関する様々な思いについて考える。</p>   <p>3 多様な性に関する基礎知識を確認する。</p>	<p>○ リーフレット表紙にある文章を読んで説明する。</p> <p>○ 1ページ目の「いろいろな気持ち」のページを保護者に読んでもらい、感想を述べ合う場を設ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分もついつい「男/女らしくしなさい」と言ってしまいます。 ・ 自分らしくいさせてあげたいと思っても、周囲の理解が得られないのではないかと不安です。 ・ 最近話題になっているので気になっていたけど、子どもたちがこれほど色々考えているとは思いませんでした。 </div> <p>○ 2ページ目にある「多様な性」について説明する。</p>	<p>備考</p>  <p>○ それぞれの校園種に該当するものだけでもよい。</p> <p>○ 多くの大人が思っている以上に性別違和を感じる時期が早いことにも触れる。</p>  <p>○ 専門的な語句の説明に深入りせず「性の在り方は多様であり、すべての</p>

4 大人にできることを考える。

①「性のかたちはいろいろ」



性のかたちは「身体の性」だけでなく、「心の性（性自認）」、「好きになる性（性的指向）」などいろいろあります。その組合せも右の図のように多様で、**みんなどこかに位置付けている**と言えます。

②「いろいろな“好き”“心”のかたち」

いろいろな「好き」のかたち

異性を好きになる子もいれば、同性を好きになる子もいます。男の子・女の子どちらも好きになる子や、「好き」という気持ちをもたない子もいます。「好き」にはいろいろなかたちがあります。

いろいろな「心」のかたち

自分のことを女の子だと思う子もいれば、男の子だと思いう子もいます。このように自分の性をどのように感じているかを「心の性」と言います。「心の性」と「身体の性」が同じ子もいれば、違う子もいます。女の子が男の子かわらない・決められないという子もいます。

③「LGBTについてQ&A」

Q LGBTの人は、私の周りにはいないと思うのですか？

A いろいろな調査結果がありますが、LGBTに該当する人は11人に1人とも言われています。「いない」のではなく、「見えない」だけなのかもしれません。

LGBTに該当する人の割合

8.9%

（LGBTは、LGBT以外の性的マイノリティも含めるに該当する人達を指すため、正確な数字はわかりません。）



（LGBTは、性的マイノリティの総称です。）

○ 3ページ目上部にある「3つのポイント」について説明する。

大人にできることは

- 「男の子だから、女の子だから」と、性別によって決めつけるのではなく、子どもの気持ちを大切に、自分らしさを伸ばせるようにしましょう。
- 多様な性について正しく理解し、家庭で話題にのぼったときには、肯定的な捉え方を示しましょう。
- 日頃から、子どもにとって相談しやすい関係をつくりましょう。

○ 困ったときの相談先や参考資料を紹介する。（時間があれば、動画「りんごの色～LGBTを知っていますか？～」を視聴する。）

○ 全体を振り返って、大人にできることについて、意見交換の場を設ける。

- ・ 「男/女らしさ」ではなく、「自分らしさ」を大切にしたい子育てにしたい。
- ・ 正しい知識をもつことが重要なので、まずは参考資料を読んで勉強しようと思う。
- ・ 命に関わる問題だと思って、これから真剣に考えたい。

人に関係があること」という視点を強調する。（専門的知識を習得したい方には、3ページ目のお勧め資料を紹介する。）



▼動画

人権啓発マンガ冊子「りんごの色～LGBTを知っていますか？～」(大分県、2017年)



幼稚園・小学校の場合、NHKforSchool「u&i～男らしく、女らしくがいいの？～」を視聴してもよい。

(2) 資料説明形式

ワークショップ形式ができない場合は、(1)のうち、資料説明の部分のみ、または動画視聴と資料配付という形でもかまいません。



リーフレットの活用や研修の進め方について御不明の点がございましたら、
人権教育推進室 426-3803 までお問い合わせください。